

古谷竹彦さん安らかに眠りください

6月2日

□T2の古谷竹彦さんは今年初めから療養に努めて来られましたが、残念ながら亡くなられました。誰にでも優しく深い愛情をもって接し偉大な存在であった夫、父を亡くされたご家族の悲しみはいかばかりかとお悔やみ申し上げます。68歳でした。6月1日(土)にお通夜、6月2日(日)に葬儀が、西栄寺なかもず泰心館でとり行われました。

□葬儀は本人が大好きだった合唱で送ってあげてほしいとのご家族の希望で、お別れに参列した昴の団員全27名が本並先生指揮、森さんピアノで沢山の曲をご本人と共に歌う気持ちで献歌しました。千秋団長からは「送ることば」と共に、「星よおまえは」をソロで献歌し、昴の合唱とともにご家族、ご親戚、会葬の皆さんの涙と感動を誘いました。司会は立川さんが行いました。

□お元気なころの古谷竹彦さんは、もっとも熱心にレッスンに出てこられた一人で、いち早く暗譜して指揮を見て歌われている姿が印象的でした。入院中も昴のCDを聞いておられたそうです。大好きな歌に因んで戒名も「竹山歌道信士」とされました。本当に惜しい人を失いました。悲しい限りですが、いまはただ、安らかに眠りくださいとお祈りするとともに、竹彦さんの愛した歌声を歌い継いでいくことをお誓いするのみです。



ご出棺は「フィンランディア」を歌ってお見送りしました。

□ 6月6日（金）の定例レッスンは奥村さんの体操と、本並先生のみぞおちを圧迫して下腹部を意識し喉の奥を開ける効果的な発声法によるヴォイストレーニングに始まり、本並先生指揮、森さんピアノで、新譜「雪の街」と「初心のうた」、続いて、合唱発表曲の「降りつむ」を細部にわたりみっちりレッスン、最後に伊藤副指揮者の指揮で、前回新譜の「労働者の合唱」をレッスンしました。

□ 腰痛が小康を得て、前回からレッスンに復帰された米川さんを加えて、全33名の参加でした。



□ 新譜「雪の街」はやなせたかし作詞、木下牧子作曲による、静かな雪の街を少年のみずみずしい感性でうたう曲、「初心のうた」は社会に対する鋭い視点をもつ木島始の詩に、新進作曲家、信長貴富が曲を付けた作品で、これも若者に対する応援歌であり、ストレートな若々しさと美しさを兼ね備えたメロディーで絶妙に包み込んでいる（インターネットから抜粋）。両方とも男声合唱のステージが YOUTUBE で聴けます。

□ 「**団内コンサート**」: 8月24日（日）は前回レッスン日がエントリーと楽譜の締切日でしたが提出が揃っていません。幹事さんが困っています。至急提出してください（エントリーしない人も全部です）。 □ リハは8月10日（日）に決定です。午前の部と午後の部に振り分けますが、エントリーが揃わないことには組みようがありません。また、8月10日が都合が悪い人は早めに申し出てください。

歴史を忘れず 未来に向かう

関西紫金草合唱団

サードコンサート

第一部

- ・ 糸 中島みゆき 作詞 作曲 山室絃一 編曲
- ・ 混声合唱とピアノのための「ふるさと」 寺嶋陸也 編曲
- 海
- 冬の夜
- 村の鍛冶屋
- ・ FURUSATO キムジュンボム編曲 arr. by kim jun bo
- ・ こだまでしょうか 金子みすず 作詞 石若雅弥 作曲
- ・ 葉っぱの赤ちゃん 金子みすず 作詞 石若雅弥 作曲
- ・ ゆらゆら春 桜井昌司 作詞 作曲 山下和子 編曲
- ・ 夕焼け 高田敏子 作詞 信長貴富 作曲
- ・ 街の灯 高元豊子 作詞 たかだりゅうじ 作曲

千秋 昌弘ソロ

- ・ 祖国と女たち 美輪明宏 作詞作曲
- ・ わが母のうた 森田ヤエ子 作詞 荒木栄 作曲 寺原 信夫 編曲

第二部

ゲスト出演
ピアノ
フルート

第三部

- ・ 春なのに 菅野祥子 作詞 作曲
- ・ 君死にたまふことなかれ 与謝野晶子 作詞 石若雅弥 作曲
- ・ 「紫金草物語」より 大門高子作詞 大西進 作曲 山下和子 編曲

都合で曲目を変更する場合があります。

指揮 本並 美徳
ピアノ 森 二三
ゲスト フローラ
ビオラ 小林 明日香
フルート 今井 しょうご
友情出演 奈良紫金草合唱団

2014年7月6日(日)
開場 13:30 開演 14:00

守口文化センター内 エナジーホール

入場料 大人 1,500円 学生 1,000円
障害者・福祉 1,000円

アピールポイント

- ・ 昴の団員が大勢出ます（千秋、伊藤、三谷、長屋、仲谷、岡邑、藤後、石橋、土井、三村、馬場）。
- ・ 長年歌いこんだ「紫金草物語」を聴いてください（特別団員、奈良紫金草、金沢紫金草との合同演奏）。
- ・ 千秋ソロで、美輪明宏作詞作曲の「祖国と女たち」（マスコミからタブー視されている日本人従軍慰安婦の歌）を歌います。
- ・ 「街の灯」は団員の高元豊子作詞（たかだりゅうじ作曲）による震災支援創作曲です。